

沼川・小潤井川 逃げどきマップ

(沼川・小潤井川・高橋川洪水ハザードマップ)

近年、想定を超える大雨による浸水被害が発生していることから、沼川・小潤井川・高橋川の管理者である静岡県が**想定される最大規模の降雨**（沼川流域で24時間雨量694.5ミリ）により、沼川・小潤井川・高橋川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域図を作成しました。

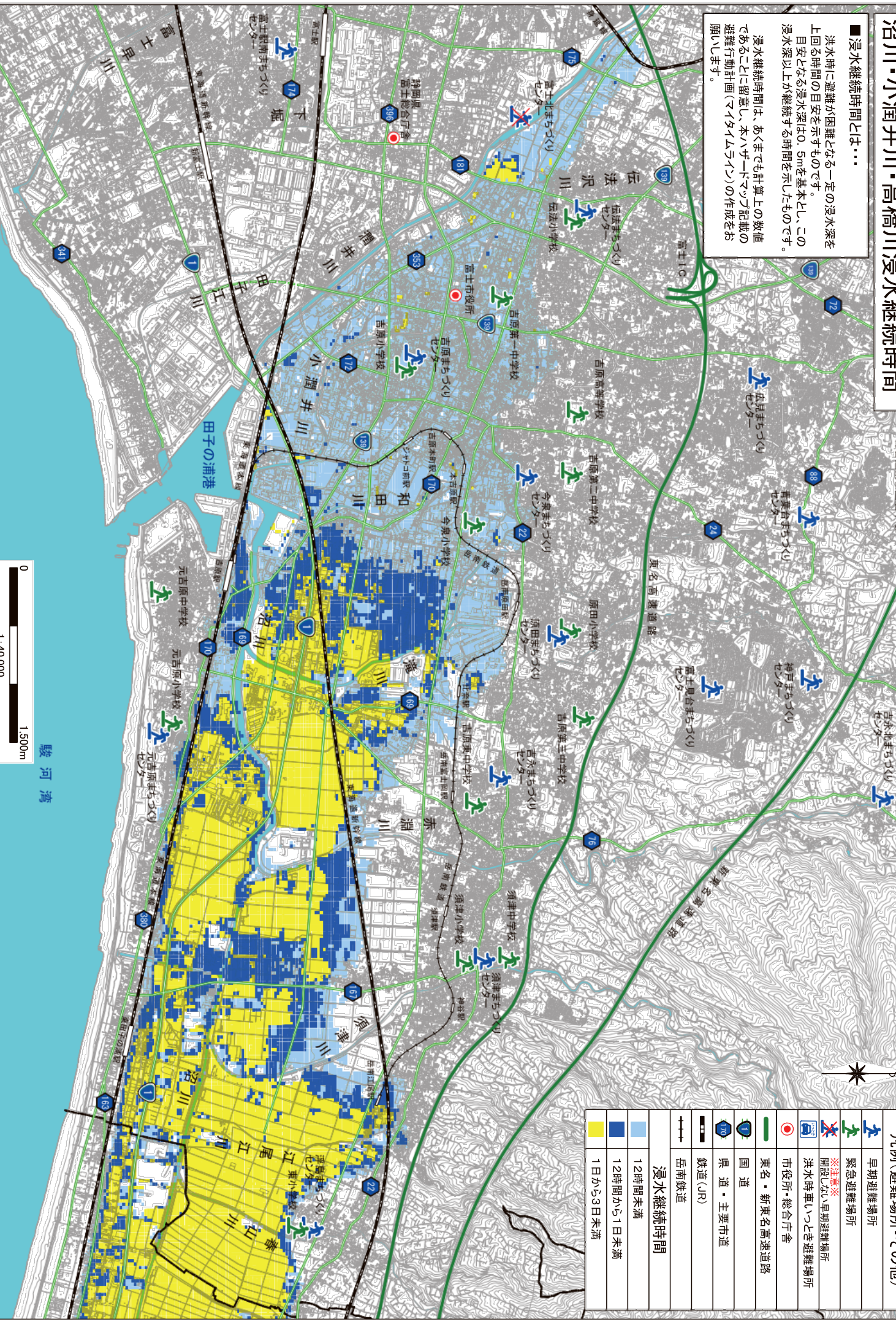
このマップは、上記の洪水浸水想定区域等を示すとともに、市民の皆さんが自分の命を守るため、**いつ、どこに、どのように避難するかを事前に考えていただくためのもの**です。

マップを使い、大雨時の自宅の危険性を確認し、いざというときの避難方法を決めておきましょう。

- 富士川・潤井川・沼川・小潤井川の最大規模降雨による洪水浸水想定区域の確認方法
ふじタウンマップ検索後、「防災マップ」をクリックしてください。
- 「富士市 防災動画配信」を検索すると、このマップの活用ガイドを動画で見ることができます。
- 国土交通省外部サイト「浸水ナビ」を活用することで、河川の堤防が決壊（破壊）した場合の想定を確認することができます。

令和3年3月作成

お問い合わせ先
 富士市 建設部 河川課 TEL. 0545-55-2833 (富士市消防防災庁舎 5階)
 総務部 防災危機管理課 TEL. 0545-55-2715 (富士市消防防災庁舎 3階)



近年の浸水被害状況

近年は、地球温暖化などの影響により、これまでに経験していないような、台風や降雨が発生し、全国で甚大な洪水や浸水被害が発生しています。

●令和元年東日本台風（台風19号）

気象概要	・台風19号は、10月12日に大型で強い勢力を保ちながら伊豆半島に上陸し、関東地方・東北地方を縦断 ・関東甲信越地方と静岡県の17地点で総雨量が500mmを超え、神奈川県裾野町では942.5mm/24時間雨量を観測	
浸水被害	・死亡者 99名 ・住宅被害 全壊 3,280棟 半壊 29,638棟 床上浸水 7,837棟 床下浸水 23,092棟	千曲川の破壊により、長野市赤沼地先が浸水した状況 (出典：国土地理院)

※令和2年2月12日現在（内閣府発表）

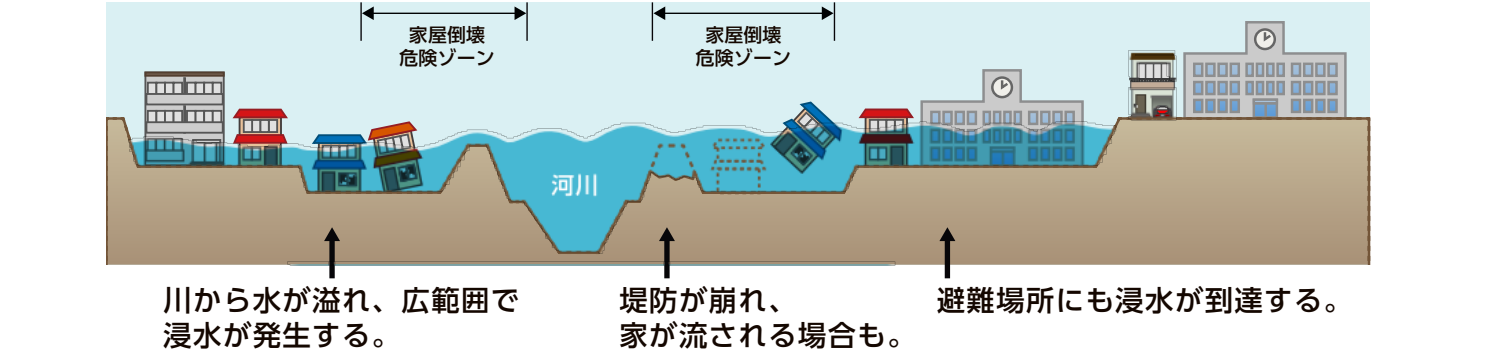
●令和2年7月豪雨

気象概要	・7月3日から8日にかけて、梅雨前線が九州付近を通り東日本にのび、停滞したことにより、特に九州、岐阜県周辺では断続的な激しい雨が降り、記録的な大雨となった。 ・7月3日から7月31日までの総降水量は、長野県や高知県の多いところで2,000ミリを超えたところがあり、九州南部、九州北部地方、東海地方、及び東北地方の多くの地域で、24、48、72時間降水量が観測史上1位の値となった。	
浸水被害	・死亡者 84名 ・住宅被害 全壊 1,622棟 半壊 4,415棟 床上浸水 1,491棟 床下浸水 5,210棟	筑後川の破壊により、福岡県久留米地区が浸水した状況 (出典：国土地理院)

※令和2年12月3日現在（内閣府発表）

ハード対策に絶対はありません

雨の降り方が変わりつつある今、ハード対策（堤防の整備など）のみで十分とは言いきれません。沼川・小潤井川においてもハード対策を上回る雨が降った場合、上記の写真や下図のような被害が発生する恐れがあります。市民の皆さんが自ら危険性を認識し、適切な避難行動をとること（ソフト対策）が大切です。



●マイタイムラインを作って大雨に備えましょう！

マイタイムラインとは？

河川の氾濫は、突然発生する地震とは違い、雨の降り方や河川の水位の上昇などの情報を確認することで、氾濫の危険性をあらかじめ察知することができます。

また、過去の豪雨災害において、逃げ遅れて救助された住民は、「避難しようと思ったら、既に家の周りが浸水して避難できない状況だった」と証言しています。

マイタイムラインとは、いざというときにタイミングを逃すことなく安全に避難できるよう、一人ひとりが避難に備えた行動をあらかじめ決めておくためのものです。

あなた自身と大切な家族を守るため、雨の降り方や河川の水位、避難情報を基に、「いつ、どこに、どのような手段で避難するか」を、下のステップ1からステップ3までのマイタイムラインの作成を通して決めておきましょう！

洪水時の避難行動計画（マイタイムライン）

ステップ1 自宅の大雨時の危険性と避難の方向を確認しましょう！

- 地図（裏面）で自宅を探し、印をつける
まずは、自宅が地図上のどの位置にあるのかを確認しましょう。
自宅を探すコツ 自宅近くの目印となる施設（学校・まちづくりセンター）を見つけ、そこから自宅を探してみましょう。
- 自宅の大雨時の危険性を書き込み、避難の方向を決める
地図（裏面）から、自宅の大雨時の危険性を確認し、以下の表の該当箇所を実線で囲み、困った各項目間を実線で結びましょう。

家屋倒壊危険ゾーン	土砂災害（特別）警戒区域	想定浸水深	自宅の階数
自宅が家屋倒壊危険ゾーンの中にある	自宅が土砂災害危険区域の中にある	3.0m以上	平屋建てまたは集合住宅の1階
自宅が家屋倒壊危険ゾーンの外にある	自宅が土砂災害危険区域の外にある	0.5m～1m	2階以上
		0.5m未満	無

大雨時にあなたがとるべき避難の方向は？

- ① 「立ち退き避難」
自宅に留まることは危険です。自宅から他の安全な場所へ移動しましょう。
- ② 「垂直避難」
自宅の想定浸水深以上の高い場所へ移動しましょう。
- ③ 「自宅待機」
外出は控えましょう。また、浸水想定区域内にいる知人や親戚への声かけや、避難者受け入れの仕掛けを。

避難を判断するための情報と収集先

避難するかどうか判断するためには、各機関から発信される情報を自ら収集することが大切です。川の水位や雨の降り方、避難についての情報は、様々な手段で収集できますので、その方法を確認しておきましょう。

川の防災情報
国土交通省が運営する川の防災情報は、雨量・水位・ライブカメラなどが確認できます。

SAIPOS-RADAR
静岡県が運営するサイポスレーダーでは、県内の雨量や河川の水位などが確認できます。

気象庁
気象庁から発表される注意報・警報・台風情報などが確認できます。

富士市メールサービス（同報無線情報）
同報無線の内容をメール配信します。右記二次元バーコードを読み込むか、fujii@sg.m.jpに空メールを送信し、メール登録（無料）を行ってください。

避難場所 一覧

台風の発生や大雨により、市内で河川洪水や土砂災害などの災害が発生する可能性がある場合に、**風雨が強まる際の強い影響で、地盤まわりのセンター（早期避難場所）として開設します。**
※まちづくりセンターは、土砂災害の緊急避難場所も兼ねています。

施設名	住所	富士川	潤井川	小潤井川	沼川	施設名	住所	富士川	潤井川	小潤井川	沼川
吉原 まちづくりセンター	高嶺町 6-3	-	m	0.3m	1.0m	大潤 まちづくりセンター	大潤 2885-4	-	m	-	-
伝法 まちづくりセンター	伝法 2743-2	-	m	-	-	富士駅北 まちづくりセンター	平坦本町 6-13	1.5m	-	-	-
今泉 まちづくりセンター	今泉 7-12-37	-	m	-	-	富士駅前 まちづくりセンター	横町 1-4-15	0.7m	-	-	-
青葉台 まちづくりセンター	一色 288-4	-	m	-	-	田子津 まちづくりセンター	中丸 232	2.7m	0.4m	-	-
吉永 まちづくりセンター	比奈 1447-1	-	m	-	-	富士北 まちづくりセンター	岩下 52-1	1.3m	-	-	-
元吉原 まちづくりセンター	大野瀬町 744-2	-	m	-	-	岩本 88-1	岩本 88-1	2.4m	-	-	-
須津 まちづくりセンター	中里 1143-1	-	m	-	-	岩瀬 121	岩瀬 121	-	-	-	-
浮島 まちづくりセンター	西船津 215-2	-	m	-	-	松野 まちづくりセンター	南松野 1792-2	-	-	-	-
原田 まちづくりセンター	原田 485	-	m	-	-	久沢 836-1	久沢 836-1	-	-	-	-
富士見台 まちづくりセンター	富士見台 6-1-1	-	m	-	-	石坂 470-5	石坂 470-5	-	-	-	-
神戸 まちづくりセンター	三ツ沢 600-1	-	m	-	-	天間 1106-1	天間 1106-1	-	-	-	-
吉永北 まちづくりセンター	鶴舞ヶ窪 162-1	-	m	-	-	厚原 2099-14	厚原 2099-14	-	-	-	-

※岩瀬まちづくりセンター、富士北まちづくりセンターは、河川洪水による危険性が高い施設のため、開設しません。
（※松まちづくりセンター：富士川の想定浸水深3.0m（2階床面）以上、富士北まちづくりセンター：潤井川の家屋倒壊危険ゾーン内）

洪水時車いすとき避難場所
洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発表された後に、「洪水時車いすとき避難場所」を開設します。

施設名	住所	施設名	住所
富士西公園駐車場	入山瀬772-1	富士信用金庫研修センター東側駐車場	中野212-11
富士市総合運動公園駐車場	中野671		

緊急避難場所（沼川洪水）
沼川洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発表された後に、浸水が想定される7地区内の以下の学校施設等を「緊急避難場所」として開設します。
※沼川川沿い浸水想定地域：高嶺、今泉、伝法、須津、浮島、原田

施設名	住所	富士川	潤井川	小潤井川	沼川	施設名	住所	富士川	潤井川	小潤井川	沼川
吉原小学校	高嶺町 6-1	-	m	0.6m	1.2m	須津小学校	中里 1019	-	m	-	-
今泉小学校	今泉 3-17-1	-	m	0.5m	1.0m	須津中学校	中里 1156	-	m	-	-
吉原第二中学校	今泉 1955	-	m	-	-	東小学校	西船津 220	-	m	-	-
吉原東中学校	比奈 75	-	m	-	-	原田小学校	原田 480	-	m	-	-
元吉原小学校	鈴川 3-4-2	-	m	-	-	吉原第三中学校	比奈 2126	-	m	-	-
元吉原中学校	鈴川中野 28-1	-	m	-	-						

緊急避難場所（小潤井川洪水）
小潤井川洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発表された後に、浸水が想定される3地区内の以下の学校施設等を「緊急避難場所」として開設します。
※小潤井川川沿い浸水想定地域：高嶺、伝法、今泉

施設名	住所	富士川	潤井川	小潤井川	沼川	施設名	住所	富士川	潤井川	小潤井川	沼川
吉原小学校	高嶺町 6-1	-	m	0.6m	1.2m	今泉小学校	今泉 3-17-1	-	m	0.5m	1.0m
伝法小学校	伝法 2743	-	m	-	-	吉原第二中学校	今泉 1955	-	m	-	-
吉原第一中学校	永田北町 7-1	-	m	0.8m	1.7m	今泉高等学校	今泉 2160	-	m	-	-

知っておきたい！情報の意味

大雨時に富士市や気象庁から発信される避難や気象に関する情報の意味をあらかじめ理解しておきましょう。

●「警戒レベル」ととるべき行動

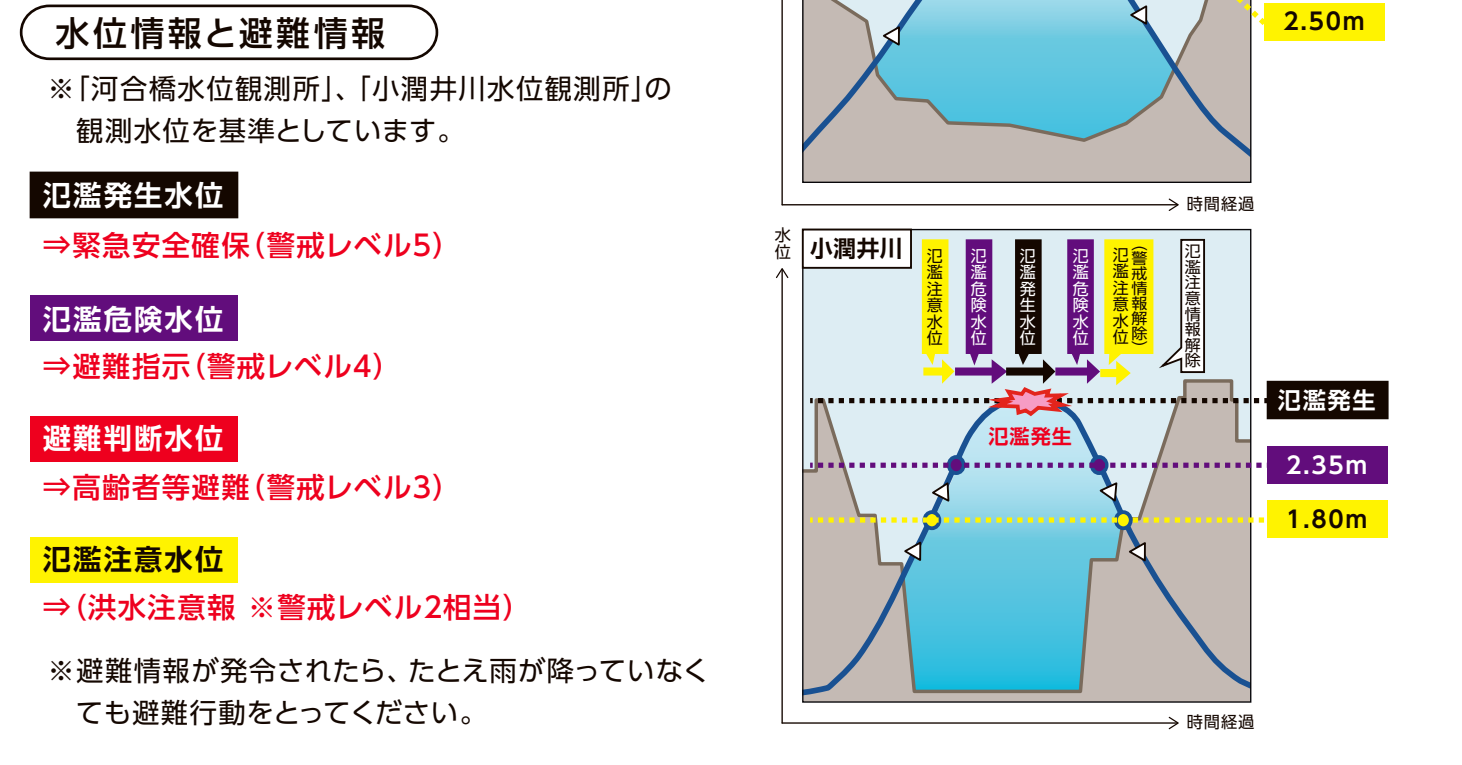
避難や気象に関する情報は、5段階の「警戒レベル」を用いて市民の皆さんへ伝達します。

警戒レベル	とるべき行動等	富士市が発令する避難情報	<防災気象情報>
警戒レベル5	命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保	氾濫発生情報 大雨特別警報
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近隣や自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 高齢者等避難	避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児等）と支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。		氾濫注意情報 洪水注意情報 等
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報

※防災気象情報は、自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

●沼川・小潤井川の水位情報と避難情報

沼川・小潤井川は水位周知河川に指定されており、静岡県が沼川・小潤井川の水位情報を公開し、洪水のおそれがある場合の水位を「特別警戒水位」として設定しています。富士市では、この特別警戒水位を基準とし、市民の皆さんに避難情報を発令します。



ステップ2 避難する場所と方法を決めましょう！

①で避難の方向を「立ち退き避難」または「垂直避難」を選択した人は、以下の表の該当箇所を囲み、避難する場所と方法を決めておきましょう。

避難の方向	避難する場所（どこへ）	避難する方法（どのように）
立ち退き避難	()さんの家	自分で（徒歩・自家用車）
	避難場所()	タクシー・バス
	その他()	支援者()さんに手伝ってもらう
垂直避難	自宅の浸水深以上の階	自分で
		支援者()さんに手伝ってもらう

※市が開発する避難場所は2ページの「避難場所 一覧」を参照してください。

●避難の方向や避難する場所を決めるために考慮すべきこと

浸水継続時間を、4ページの図で確認しましょう。浸水してから水が引くまでに1日以上かかる場所もあります。

浸水してしまうと、電気、ガス、水道、トイレが使えない状態で、長時間生活することになりますので、2階以上に水・食料・携帯トイレなどを必要数備蓄しておくことが必要です。

取り残された場合のヘリコプターやゴムボートによる救出は、最終手段であり、危険を伴うことを忘れてはいけません。

図 河川が氾濫した場合の避難の方向イメージ

ステップ3 わが家のマイタイムラインを完成させよう!!

- 大雨時に「わたしがとる行動」①～③について、行動を開始するきっかけにする情報を「気象・避難情報」A～Eの中から1つ選んで□欄へ記入しましょう。
- ②で決めた内容を③の「避難する場所」、「避難する方法」に記入しましょう。
- 完成したマイタイムラインを写真に撮り、撮った画像を家族全員で共有しておきましょう。

「沼川・小潤井川」 わが家のマイタイムライン 年 月 作成

わたしがとる行動 気象・避難情報

1 気象情報の収集や家族などに連絡をする □ A～Eを記入

A 洪水注意報
B 洪水警報
C 河合橋水位観測所で沼川の氾濫注意水位2.50mを観測、小潤井川水位観測所で小潤井川の氾濫注意水位1.80mを観測

2 避難の準備をする □ A～Eを記入

D 河合橋水位観測所で沼川の避難判断水位2.70mを観測、警戒レベル3を発令
E 小潤井川水位観測所で小潤井川の氾濫危険水位2.35mを観測、警戒レベル4を発令

3 避難を開始する □ A～Eを記入

F 河合橋水位観測所で沼川の氾濫危険水位2.98mを観測、小潤井川水位観測所で小潤井川の氾濫危険水位2.35mを観測、警戒レベル5を発令

4 避難が完了している □

ここまでに避難を完了!!

危険度大 氾濫発生